

アフリカ食料安全保障情報整備支援事業（継続）

【63（63）百万円】

対策のポイント

- ・ CARD支援対象国のコメを中心とする農業統計整備を、アフリカ稲センター及びFAOを通じて支援し、CARDの取組の効果を測る体制を確立するとともに、CARDの成果に対する国際社会の信頼性を向上させます。

<背景／課題>

- ・ アフリカ地域では、人口に占める栄養不足人口の割合は約20%と他地域と比較して高く、食料安全保障の確保が喫緊の課題となっています。
- ・ このため、我が国は、アフリカ地域の食料安全保障確保の観点から、2018年までの10年間でコメの生産量の倍増を目的とするアフリカ稲作振興のための共同体（CARD）イニシアティブを推進しています。
- ・ CARDイニシアティブの推進母体の一つであるアフリカ稲センターにおいては、コメを中心とする統計データの収集に取り組んでおり、我が国は平成24年度から同センターを通じ、農業統計整備に必要な国毎（国レベル）の体制作りのための支援活動を実施しています。
- ・ 他方、農業統計の効果的な整備には、国レベルの対応に加え、地方レベルの適確な実査（坪刈り単収調査等）が必要ですが、CARD支援対象国の多くは地方レベルの人材育成が十分でなく、農業統計の精度向上の課題の一つとなっています。
- ・ このため、FAOの南南協力のフレームワークを活用してASEAN諸国の農業統計専門家をCARD支援対象国に派遣し、地方レベルの人材育成を行うことにより、各国の農業統計の整備とASEAN諸国の専門家の更なる育成を図ります。

政策目標

- 本事業で支援した手法により取りまとめた調査結果が、4カ国以上のCARD支援対象国において公式統計として用いられる。
- 改善された調査手法を適用するための研修講師を務めることができる中央省庁レベルの農業統計担当者を、CARD支援対象国全23カ国において育成する。

<主な内容>

1. 各国に適応可能なモデル的調査手法をCARD支援対象国担当者とともに開発するとともに、複数の国でパイロット調査を実施し、調査手法を改善します。
2. 本事業で開発された調査手法が、CARD支援対象国において着実に適用されるように、中央省庁レベルの農業統計担当者を対象に研修を実施し、調査の円滑な実施に向けた指導を行います。
3. FAOとアフリカ稲センターの連携により、南南協力のスキームを活用して、ASEAN諸国の農業統計専門家をCARD支援対象国に派遣し、地方組織の担当者を対象に、開発された実査手法の指導を行います。
4. CARD支援対象各国から報告された結果を集計、分析しアフリカ稲センターのホームページで公表します。

（ 拠出先：アフリカ稲センター（AfricaRice）

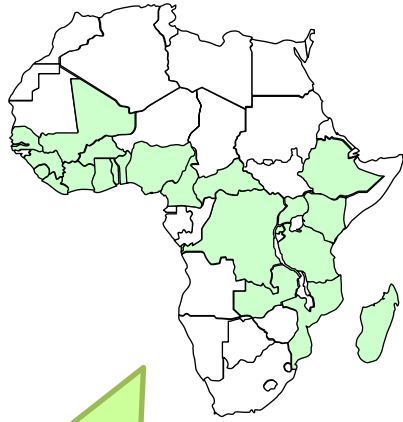
国際連合食糧農業機関（FAO）

事業実施期間：平成24年度～平成29年度）

（お問い合わせ先：大臣官房国際部国際協力課（03-3502-5913（直））
統計部統計企画管理官（03-3502-8092（直））

アフリカ食料安全保障情報整備支援事業概要

CARD支援対象国



農業統計の整備が遅れており、効果的な調査手法の改善、各国担当者の人材育成等が大きな課題

アフリカ稲センター(拠出:平成24~26年度)

主な活動

- ① コメの遺伝子に関する研究
- ② コメの生産性強化に関する研究
- ③ ネリカ米に関する研究、生産振興
- ④ 業務評価、研修事業
- ⑤ 統計情報管理

- ① 調査手法の開発・改善
- ② 各国中央省庁の農業統計担当者の人材育成(地域レベル研修)
- ③ 調査企画の実施支援
- ④ 調査結果の集計・分析・公表

FAO(拠出:平成25~29年度)

主な活動

- ① 国際的な検討の場の提供
- ② 国際条約等の策定・執行
- ③ 調査分析、情報の収集伝達
- ④ 技術助言・技術協力

南南協力の推進

○ ASEAN諸国の農業統計専門家をCARD諸国に派遣し、国レベルでの地方組織の人材育成を実施

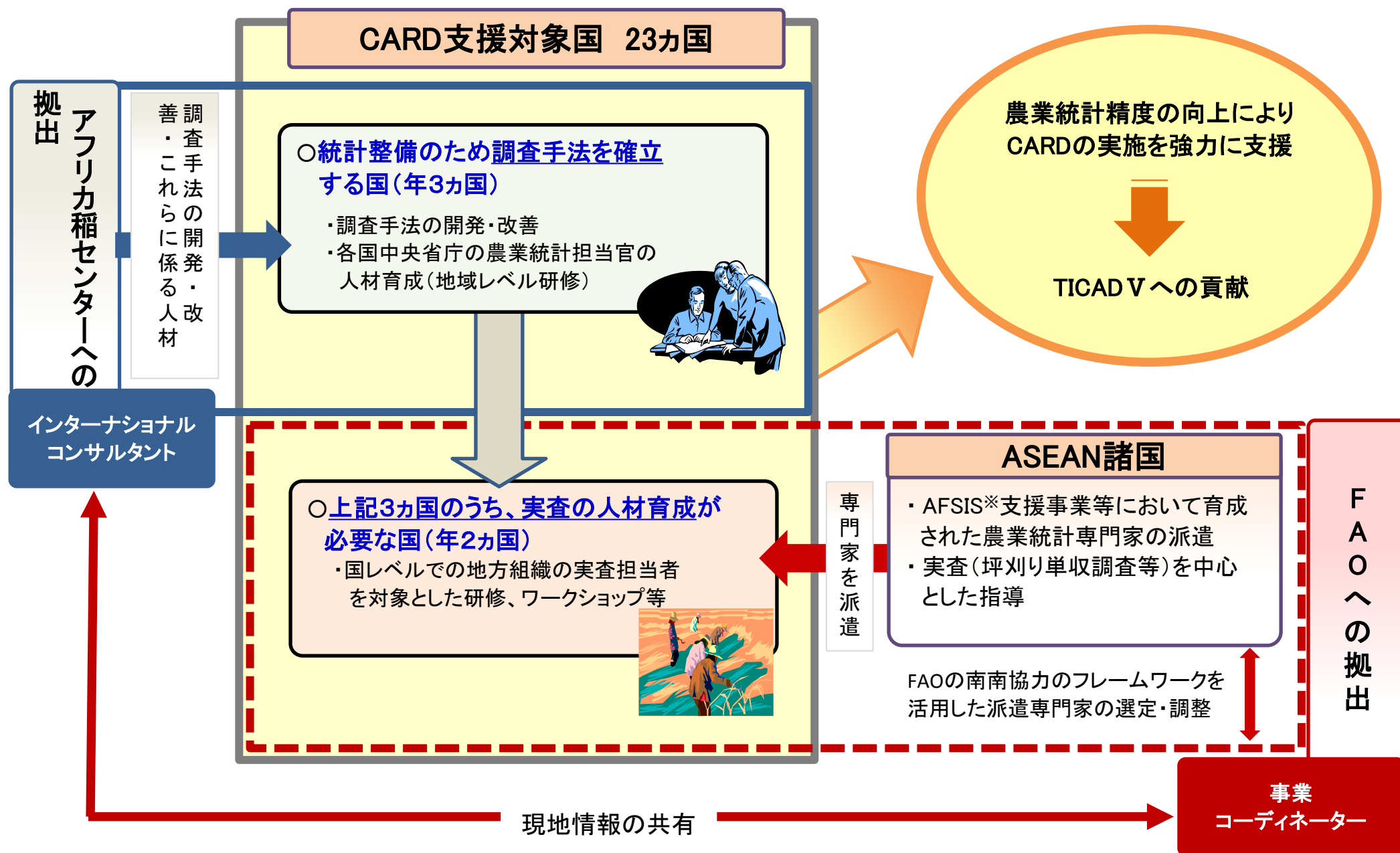
信頼性の高い情報のタイムリーな収集・提供

各国の食料安全保障政策立案の基礎として寄与/CARD※イニシアティブの推進に寄与

アフリカ地域の食料安全保障の強化

※ ・CARD:Coalition for African Rice Development(アフリカ稲作振興のための共同体)
・2018年までの10年間でアフリカのコメ生産量を倍増することが目標

アフリカ稲センターとFAOの役割分担のイメージ



※ AFSIS: ASEAN Food Security Information System (アセアン食料安全保障情報システム)